令和2年度　新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る事業効果

（円）

No.	事業名称	事業概要	事業分類	経費内訳		事業開始年月日	事業終了年月日	事業実績	事業効果
				事業費	うち交付金充当額				
1	苫前町飲食店応援金給付事業	緊急事態宣言に基づく休業要請や外出自粛による営業の縮小により、特に大きな影響を受けている飲食サービス業事業者に対する応援金の支給。	Ⅱ－３．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	3,800,000	3,800,000	令和2年5月1日	令和2年5月13日	休業要請等により影響を受けた飲食サービス業事業者への応援金を支給（一律20万円×19事業者）	事業実施により、飲食店等の経営維持を図ることができた。
2	苫前町中小事業者持続化支援金給付事業	感染拡大により大きな影響を受けている中小企業・小規模事業者で売上が前年同月比30%以上減少した事業者に対して、その事業継続を支えるため、事業全般に広く使える支援金の支給。	Ⅱ－３．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	30,000,000	30,000,000	令和2年6月5日	令和3年2月5日	感染拡大による影響を受けた町内中小事業者に対し事業継続の支援金を支給（一律50万円×60事業者）	事業実施により、中小事業者の経営維持を図ることができた。
3	新型コロナウイルス予防対策事業	住民の感染予防への啓発や消毒液の配布、感染時の消毒作業等の対策資材を備蓄し感染拡大防止を図る。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	6,869,000	6,869,000	令和2年4月17日	令和3年3月29日	住民の感染予防資材の配布、感染時の消毒作業等での対策資材の備蓄品の購入 使い捨てマスク(50入)1,300個、手指消毒アルコールジェル(285ml)1,512個、非接触型体温計3個など	事業実施により、町内での感染拡大を防ぐとともに、感染時の迅速な消毒作業が可能となった。
4	遠隔･オンライン学習環境整備事業	GIGAスクール構想関連事業等による児童・生徒等の使用する環境の整備を図る。	Ⅰ－８．学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	14,013,000	14,013,000	令和2年10月19日	令和3年8月31日	GIGAスクール構想関連事業対象外となる教員、生徒への貸出用パソコン等の整備 端末111台、ヘッドセット187セット、マウス126個など	事業実施により、GIGAスクール構想関連事業対象外の教師及び児童生徒1人ずつに端末等を貸し出すことができた。
5	苫前町プレミアム地域振興券発行事業補助金	感染症拡大の影響を受けた地域経済や住民生活の支援を目的として、例年実施しているプレミアム付き地域振興券発行をプレミア率のアップと発行枚数の増により実施する。	Ⅲ－２．地域経済の活性化	7,640,000	2,640,000	令和2年5月28日	令和3年3月4日	例年実施のプレミアム地域振興券に10%のプレミア率を上乗せし、1,000セット追加 販売時の感染防止対策の為の事務費増額分を補助	事業実施により、落ち込んでいた個人消費の回復や地域経済の活性化に繋がった。
6	商店街チラシ事業補助金	感染症拡大の影響により売上げの落ち込んでいる小規模事業者等の合同チラシの作成により販売促進を図る。	Ⅱ－３．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	1,109,910	1,109,910	令和2年5月28日	令和3年3月3日	飲食店のテイクアウト事業等の周知広告チラシの制作発行事業への補助（制作、印刷、新聞折込経費43.6千円×26回分）	事業実施により、小規模事業者等の経営維持及び個人消費の促進に繋がった。
7	苫前町漁業者持続化支援金給付事業	感染拡大により大きな影響を受けている漁業者で収入が令和2年1～12月のいずれかの一月で前年平均月収比30%以上減少した漁業者に対して、その事業継続を支えるため、事業全般に広く使える支援金の支給。	Ⅱ－３．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	26,500,000	26,500,000	令和2年7月31日	令和2年9月25日	感染拡大による影響を受けた町内漁業者に対し事業継続の支援金を支給（一律50万円×53件）	事業実施により、漁業者の経営の安定化が図られた。
8	苫前町地域応援券発行事業	感染症拡大の影響をにより受けた地域経済や住民生活の支援を目的として、先行して実施しているプレミアム付き地域振興券発行に加え全町民へ地域商品券を交付し更なる地域経済の活性化を図るため実施する。	Ⅲ－２．地域経済の活性化	16,020,561	16,020,561	令和2年7月21日	令和3年3月29日	飲食店限定の地域応援券(2,000円分)と飲食店以外で共通の地域応援券(3,000円分)を全町民へ配付　2,809セット	事業実施により、町内飲食店等での消費が拡大し、地域経済の活性化に繋がった。

No.	事業名称	事業概要	事業分類	経費内訳		事業開始年月日	事業終了年月日	事業実績	事業効果
				事業費	うち交付金充当額				
9	苫前町感染予防対策事業者支援金給付事業	北海道内の感染者数は減少しているなかで、「新しい生活様式」に基づく、「新北海道スタイル」安全宣言による感染予防対策を実践する事業者に対し支援金を支給。	Ⅱ－３．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	4,200,000	4,200,000	令和2年8月7日	令和3年1月22日	「新北海道スタイル」安全宣言による感染予防対策を実施し、取り組みを確認できた事業者へ支援金を支給（一律10万円×42事業所）	事業実施により、事業者の経営の安定化が図られた。
10	介護関係事業者感染症対策支援事業	感染した場合特に重症化が想定される高齢者への介護サービスの提供を行う介護事業者が、新型コロナウイルス感染症対策として通常以上の予防対策が求められていることから、介護事業者が行う予防対策に対し支援を行う	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	2,500,000	2,500,000	令和2年9月28日	令和2年10月23日	町内で介護サービスを提供する事業者へ感染予防対策支援金を支給(一律50万円×5事業所)	事業実施により、介護事業者における感染拡大の防止が図られた。
11	医療機関診療体制維持継続支援事業	緊急事態宣言解除後も感染予防の観点からの受診控えや感染予防対策を強化しながら診療体制を維持し、経営的にも大きな影響を受けている医療機関に対し支援を行う。	Ⅰ－３．医療提供体制の強化	10,000,000	10,000,000	令和2年9月24日	令和2年10月26日	町内で医療を提供する医療機関へ診療体制維持継続支援金を支給(一律医科400万円×2医療機関、歯科200万円×1医療機関)	事業実施により、医療機関の経営の安定化及び診療体制の維持が図られた。
12	農業経営推進対策支援事業	外出自粛や営業自粛等による農畜産物の消費低迷や販売価格の下落により農業経営者へ深刻な影響が懸念されるため、出荷・販売元である苫前町農業協同組合が行う新規販路開拓や製品滞留等の解消に向けた取り組み、農協が事業実施のため生産者から徴収する賦課金への支援を行い生産者負担の軽減による支援を行う。	Ⅲ－２．地域経済の活性化	14,500,000	14,500,000	令和2年9月15日	令和2年9月25日	農協が実施する農業指導事業として徴収する賦課金の一部に対する支援金 正組合員：20,000円×110戸 法人：50,000円×9法人 田：650円×157,600a 畑：90円×178,500a	事業実施により、農畜産物の販売が促進され、農業経営の安定化が図られた。
13	水産物供給力強靭化対策事業	外出自粛や営業自粛による水産物の需要減少の状況の中、水産物の生産供給力を維持するため販路拡大等の販売促進対策や市場から求められる荷捌所等の施設における衛生管理対策に取り組む北るもい漁業協同組合に対し支援を行う。	Ⅲ－２．地域経済の活性化	1,000,000	1,000,000	令和2年9月15日	令和2年9月25日	通信販売や新規市場への進出など販路拡大事業費：50万円 マスクや消毒液等感染症予防対策費：50万円	事業実施により、漁協運営の安定化が図られるとともに、従業員間での感染拡大を防ぐことができた。
14	新日本海地域交流センター支援事業	町の観光産業の拠点となる指定管理施設である新日本海地域交流センターは北海道の休業要請や外出自粛による深刻な影響を受け、営業再開に向け感染予防対策を講じ持続的な管理運営とサービスの維持を図るために支援を行う。	Ⅲ－１．観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	30,000,000	30,000,000	令和2年11月6日	令和2年11月25日	休業要請に伴う営業自粛や感染予防対策への支援金：30,000千円	事業実施により、従業員の雇用の維持と、公の施設の安定的かつ継続的な運営を図ることができた。
15	救急車感染防止対策事業	感染拡大により救急搬送隊員の二次感染や濃厚接触のリスク回避により消防隊員の人員確保により地域の救急体制を確保するため救急車へ感染症防止策備品を配備する。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	2,730,000	2,730,000	令和2年10月1日	令和3年3月31日	北留萌消防組合古丹別支署へ配備の救急車に備品配備するための負担金 アイソレーター(一式)：1,870千円 パーティションボード(一式)：860千円	事業実施により、患者からの二次感染や隊員間での感染防止に効果があった。
16	避難所感染症対策事業	自然災害等発生時における避難所での感染予防対策としての３密回避のための備品の整備。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	18,118,100	17,151,133	令和3年1月28日	令和3年3月31日	段ボールベッド、屋内型テント、備蓄品保管コンテナの購入 段ボールベッド(200個)1,485千円 プライベートルーム(200個)11,846千円 12ｆｔコンテナ(6基)4,730千円	事業実施により、災害時の感染拡大防止体制を整備することができた。

No.	事業名称	事業概要	事業分類	経費内訳		事業開始年月日	事業終了年月日	事業実績	事業効果
				事業費	うち交付金充当額				
17	社会教育施設感染症予防対策事業	社会教育施設での感染予防対策を目的に、非接触式体温計や消毒資機材等及び公民館の調理実習室、厨房へ空調設備を整備する。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	6,348,180	6,348,180	令和2年7月30日	令和3年7月31日	公民館、資料館、体育施設へ消毒資機材等を整備 非接触式体温計9個、アルコールディスペンサー6個、サーキュレーター10機など 苫前町公民館調理実習室(1台)、厨房(1台)へ空調設備を追加設置工事　4,290千円	事業実施により、感染拡大を防ぎ、住民が利用しやすい環境を整備することができた。
18	学校再開に係る支援事業	学校再開に係り、空調換気設備の無い校舎、学校給食調理場等へ感染予防対策を図るため空調設備の整備及び衛生消耗品を購入する。	Ⅰ－８．学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	7,692,278	7,692,278	令和2年8月28日	令和3年2月26日	空調換気設備の無い苫前中学校、学校給食調理場、高校生寄宿舎厨房へ空調換気設備を整備、衛生消耗品の購入 苫前中学校　普通教室3台、職員室1台の設置工事　3,410千円 学校給食調理場2台の設置工事　3,740千円 高校生寄宿舎厨房　男子寮、女子寮各1台の設置工事　473千円 手指消毒液40本、マスク50箱など	事業実施により、感染拡大を防ぎ、生徒及び教師が利用しやすい環境を整備することができた。
19	新型コロナウイルス予防対策物品配付事業	今後の感染拡大時に備え町内各世帯へマスクを配布し感染予防対策を図るもの。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	2,154,240	2,154,240	令和2年9月30日	令和2年11月16日	町内全世帯へ使い捨てマスク100枚を配布　1,530世帯	事業実施により、町内での感染拡大を防ぐことができた。
20	乳幼児健診感染予防対策事業	乳幼児健診時における身長計や乳児待機場所へ設置のマットを木・布製から消毒対応が容易なプラスチック製等の素材のもので感染予防対策を実施するため。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	160,721	160,721	令和2年10月5日	令和2年11月16日	乳幼児身長計@29,073×1台、折りたたみマット@44,880×1組、マット@35,860×2組、@15,048×1組	事業実施により、乳幼児健診等の感染拡大を防ぐことができた。
21	公共施設感染予防対策事業	庁舎窓口カウンター等へアクリルパーテーションや手指消毒器を設置し、感染予防対策を図るもの。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	592,064	592,064	令和2年7月28日	令和2年8月25日	自動手指消毒器、アクリルパーテーション購入 自動手指消毒器2個、アクリルパーテーション21枚など	事業実施により、職員と住民間での感染拡大を防ぐことができた。
22	観光施設感染予防対策事業	町が設置する観光施設や宿泊施設、観光事業における感染予防対策を図るため必要備品等の購入及び設備を整備する。	Ⅰ－１．マスク・消毒液等の確保	5,529,722	5,529,722	令和3年8月28日	令和3年3月31日	新日本海地域交流センター、ななかまどの館、オートキャンプ場、海水浴場等の施設、観光事業に必要な備品等や空調設備等の整備 新日本海地域交流センター厨房用空調設備設置2,090千円 アクリルパーテーション31枚、手指消毒器24個など	事業実施により、感染拡大を防ぎ、利用者が利用しやすい環境を整備することができた。
23	地元特産品等販路拡大事業	新型コロナウイルス感染症による消費低迷や販売価格の低落に伴う影響を受けている地元特産品の販売拡大対策を図るもの。	Ⅲ－２．地域経済の活性化	5,500,000	5,500,000	令和2年11月11日	令和3年3月31日	特産品のPR用写真撮影、webサイトの構築、web広告及び関係人口の創出のためふるさと納税カタログへの特産品紹介ページの作成に係る業務委託 5,500千円（一式）	事業実施により、ふるさと納税の寄付額が増加し、地元特産品の販路拡大に繋がった。

No.	事業名称	事業概要	事業分類	経費内訳		事業開始年月日	事業終了年月日	事業実績	事業効果
				事業費	うち交付金充当額				
24	社会教育事業等デジタル化環境整備事業	社会教育事業におけるオンラインセミナーや講演会、リモートによる各種教室の開催による生涯学習のデジタル化のための環境の整備を図る。	Ⅳ-３．リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	672,500	672,500	令和3年3月10日	令和3年8月31日	オンライン事業のためのパソコン等の整備 ノートパソコン2台、ビデオカメラ1台、プロジェクター1台など	事業実施により、オンラインによる社会教育事業等を行える環境を整備することができた。
25	第2弾苫前町飲食店応援金給付事業	感染拡大の長期化により外出自粛等による営業の縮小により、特に大きな影響が続いているカラオケ事業を行う飲食サービス業事業者に対する応援金の支給。	Ⅱ-３．事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	1,800,000	1,800,000	令和3年3月12日	令和3年3月23日	感染拡大の長期化により影響を受けたカラオケ機材を有する飲食サービス事業者へ事業継続のための応援金を支給（一律30万円×6店舗）	事業実施により、飲食店等の経営維持を図ることができた。
26	農業・食品産業強化対策整備交付金	新型コロナウイルスの影響により輸入減少しているミニトマトついて、加工･業務用の需要が拡大している。従来農業者が収穫時に選別、廃棄していたB級品について、選別機の更新により無選別での収穫、機械選別により加工･業務用へ供給し販路の拡大と生産者、集出荷施設の作業の省力、収益の増、新型コロナウイルス収束後には海外輸出を計画。	Ⅳ-１．サプライチェーン改革	63,800,000	11,825,320	令和2年10月21日	令和3年7月31日	選別機2台28,000千円、製函機1台6,700千円、工事費等29,430千円	事業実施により、生産者等の省力化に繋がるとともに、新型コロナウイルス感染症収束後の販路拡大に向けた体制を整備することができた。
27	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開にあたり、集団感染のリスクを避けるため対策として保健衛生用品の整備を図る。	Ⅰ-１．マスク・消毒液等の確保	65,912	34,912	令和2年5月13日	令和2年6月24日	手指消毒ジェル、非接触型体温計の購入 手指消毒ジェル20本、非接触型体温計4個	事業実施により、児童生徒及び教師間での感染拡大を防ぎ、安全に授業が行える環境を整備することができた。
28	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に際して、感染症対策等徹底し児童・生徒の学習保障をするための学校教育活動の再開を支援する。	Ⅰ-１．マスク・消毒液等の確保	8,073,459	4,073,459	令和2年8月25日	令和3年3月29日	感染症対策物品、3密回避、熱中症対策、学校・家庭での学習支援教材の購入 2,000千円×4校	事業実施により、児童生徒及び教師間での感染拡大を防ぎ、安全に授業が行える環境を整備することができた。
29	公立学校情報機器整備費補助金	臨時休校等により児童生徒が授業を十分に受けることができないことによって、学習に著しい遅れが生じることのないよう、同時双方向型のオンラインによる学習環境を整備するもの。	Ⅳ-３．リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	140,000	70,000	令和3年10月19日	令和3年3月30日	オンライン学習に使用する機器の整備 ヘッドセット26セット、マウス64個	事業実施により、オンラインによる学習環境を整備することができた。
30	無線システム普及支援事業費等補助金	町内で光ファイバ回線の未整備地区において、民設民営方式により整備を行い、情報格差を解消し基幹産業の振興や教育振興、持続可能な地域づくりを図る。	Ⅳ-３．リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	374,888,000	84,770,000	令和3年2月10日	令和4年3月31日	民設民営方式による光ファイバ回線の整備	事業実施により、スマート農業やICT機器を活用した教育を実施できる環境を整備することができた。
31	学校保健特別対策事業費補助金	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するための対策として、感染症対策備品の整備を行う。	①-Ⅰ-１．マスク・消毒液等の確保	2,768,480	0	令和3年3月16日	令和3年9月30日	感染症対策物品、熱中症対策備品の購入 4校分	事業実施により、児童生徒及び教師間での感染拡大を防ぎ、安全に授業が行える環境を整備することができた。